

# ヨシの生産量(バイオマス)調査～琵琶湖博物館と協同調査

1. 目的： 冬季のヨシ原保全の環境効果の実証調査。  
(製品として利用される冬期のヨシについて)
    - ① 1㎡当たりのヨシ密度
    - ② 生物量 (特定地域に生息する生物の総量)
    - ③ 炭素量 (CO<sub>2</sub>)
  2. 調査地域： 西の湖周辺のヨシ原
  3. 調査日程： 2017年2月25日・3月11日のヨシ刈り後 13:00～予定
- ※持ち物： 筆記具・電卓・マスク・剪定ばさみ(ある人は)  
午後のため、おにぎり等の軽食
4. メンバー： 琵琶湖博物館 (林学芸員)  
ネットワーク・・・随時募集  
コクヨ工業滋賀
  5. 調査方法：
    - ① 各地点において3m×3mの方形プロットを設置する。(1プロット4～5名)
    - ② 各プロットにおける平均ヨシ高さを測定。(切る前に)
    - ③ プロット内の全てのヨシを切り取る。(地上10cm位の所を剪定ばさみで)
    - ④ 全ヨシ数・穂のないヨシ数・細いヨシ数を数える。
    - ⑤ 全ヨシ重量を測る。(束単位)
    - ⑥ 30本のヨシを無作為に選んで根際の直径を測る。(ノギス)
 ⇒ 測定後、博物館で湿潤&乾燥重量を測るため、30cmに切断し封筒につめる。
- ※ 1プロット約20分位。最低5プロットを調査。約2時間程度の作業。



※ バイオマスとは  
 bio=生物資源  
 mass= 量  
 持続的に再生可能な生物由来の有機性資源